

ほほえみ 第134号



新しい年を迎えました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが日常生活を覆うようになって二年が経過しています。この間に、さまざまな出来事がありましたが、もう二年たったのかというのが率直な感想です。当初は、アフター・コロナを念頭に置いた対応でしたが、ここまできるとウィズ・コロナを考えるしかないようにも思われます。おそらく、オミクロン株のように感染力は高くても重症度が低いと見なされる株の出現は、ウィズ・コロナを示唆しているように思うのです。人類の歴史を見れば、もっと激しい伝染病もありましたので、ウィズ・コロナであっても、充実した生活は行えるのではないかと思います。

資本主義

最近、新しい資本主義という言葉が取りざたされていますが、その内容として令和版所得倍増計画などの言葉も出てきます。この言葉の提唱者の意図はよく理解できないのですが、高度経済成長を夢見ているのでしょうか。日本の高度経済成長期では実質経済成長率が10%以上であり、この経済成長によって国民所得も倍増した訳です。

トマ・ピケティが書いた「21世紀の資本」という分厚い本があり、その中で世界各国の歴史的な経済成長率が記されています。実際には、歴史的に見て経済成長率は、大体、年率1%前後のものであり、それより下回ることも稀ではないようです。例外的に4%以上のこともあるのですが、その場合は、遅れて市場に参入した国が、先進国に追いつく際に一時的に見られるもので、特殊なケースに相当します。これが該当するのは、日本では高度経済成長期ですが、それ以降では見られていません。その理由は、先進国になってしまうと成長には革新が必要であり、言葉でいうのは簡単でも、現実的に革新をもたらすことは難しいためです。日本が将来的に地道な経済成長することはあっても、戦争のような世界情勢の変更が起こらない以上、高度経済成長はあり得ないでしょう。となると、経済成長なしに所得を倍増するということは、無から有を生み出すような話です。

ゼロサムゲームと言われる、全体量が変わらない状況では、一方が多く得れば、他方は損をするということになります。経済成長がないのに労働者の所得が倍増すれば、資本家は損をしなければならないでしょう。現実には、日本の最近の経済成長は1%未満ですし、所得は伸びておらず、韓国の国民所得を下回りました。すると、新しい資本主義は、富の再分配を示唆する以外には考えにくく、社会主義的な政策が予想されるということで、自由競争が妨げられるという懸念もあり、株価が下がる、日本売りとなっています。

さて、先進国というと、未来的な進歩した国のイメージですが、本来、先進という言葉は本来は、古い時代、先輩を意味します。論語に先進篇というものがあて、その冒頭で、先進は礼楽において野人であると書かれていて、今の語法と違和感を感じたのを思い出しました。解説を読んで、先進が時間的な先を意味することがわかり、進歩的、未来的なイメージはなく、過去を差しているのがわかりました。先後は、今の語法なら時間的な前後を示し、将棋の先手、後手のようなもので、洗練された意味合いはなかったのです。ただし、現在の用法で日本が先進国に留まるためには、生産性の向上が必要であり、それは富の再分配とは次元の異なる課題なのです。



トマ・ピケティ wikipediaより引用

スズメのねぐら

冬になって、朝と夕方にスズメが窓の近くのバラの茂みで鳴いていることが多くなりました。巣づくりする時期ではないため、どうも、ねぐらにしているようです。昼間はいないため、どこかに餌を探しにでているのでしょう。微妙に好みがあるようで、一面にいる訳ではなく、大体二カ所ぐらいに分かれて住み家になっているようです。

そういえば、あまり期待していなかった巣箱でしたが、掃除してみると中に苔が敷き詰められており、巣を作った鳥がいたようです。あるいは、途中まで作ってやめたのかもしれませんが、今年はヒナの姿が見られると良いなと思っています。



つるバラの3タイプ

バラの花は、花屋さんに行けば沢山売っていますが、つるバラを見る機会はありません。バラ園で見ることができますが、それでも家屋の壁面に誘因された景観は、ほとんど見ることはできません。管理の仕方は、主に本で学ぶことになるでしょう。そして、つるばらに3つのタイプがあることを知っている人は、ガーデナーだけではないでしょうか。

つるバラには枝が柳のように柔らかで長く伸びる(6から8メートル)ランブラーと呼ばれるタイプ、枝が太く垂直に3メートル以上伸びるクライミング、木立のようなブッシュの3つのタイプがあります。世話が大変でしょうと言われることも多いのですが、つるバラに関しては、植え替えも肥料も、我が家では消毒も必要ありません。管理としては、ランブラーが巨大なので最も大変です。しかし、咲いた時の豪快さは別格です。

一番の作業は剪定・誘因で、つるバラを扱える業者がないので、自分でやるしかなく、真冬の作業になります。花の咲く位置をコントロールする作業で、景観を決める大事な作業になります。



アルベリック・バルビエ
アルバ・メイディランド
(ランブラーローズ)

MEMO

1月のがん化学療法科の予定

- | | |
|-------|-------------|
| 1月4日 | 診療応援(佐々木先生) |
| 1月6日 | 診療応援(平出先生) |
| 1月10日 | 成人の日 |
| 1月11日 | 診療応援(工藤先生) |
| 1月13日 | 診療応援(平出先生) |
| 1月18日 | 診療応援(佐々木先生) |
| 1月20日 | 診療応援(平出先生) |
| 1月25日 | 診療応援(工藤先生) |
| 1月27日 | 診療応援(平出先生) |



鍋物の美味しい季節となりました。